

**10月国際長老訓練#4:主の二度目の、また目前に迫った来臨のために、主の委託において、また主の賜物において忠信に奉仕する** 12/28-1/3 **OL Summary: I. マタイ 24:45～51**が啓示していることは、私たちが主の委託において忠信に奉仕し、神を食物として神の家族の者たちに与えなければならないということです。それは私たちが来たるべき王国において、キリストを私たちの褒賞として獲得するためです。**A.**神は家庭、また家庭の行政、エコミーを持っており、彼ご自身を食物として彼の家族の者たちに分与し、彼ご自身を表現させます。**B.**神は、忠信で思慮深い奴隷を彼ご自身の家族の上に立てて、家庭の管理者、執事、供給の経路とならせ、定められた時に彼の民に食物を与えさせました。**C.**「食物を与える」は、召会の中で、神の言葉とキリストを命の供給として、信者たちに供給することを指しています。キリストは命を与える霊として、私たちの食物であり、命の言葉の中に具体化され、実際化されています/私たちが主を私たちの霊的食物として享受して、人を養うことができるようになるためには、彼の言葉を祈り、思い巡らさなければなりません。また、それを注意深く考慮することを通して、味わい、享受しなければなりません。**D.**私たちの心の中で、私たちの主人は来るのが遅れると言うことは、現在の邪悪な時代を愛して、主の出現を愛さないことです/私たちは、むさぼりに警戒して、自分のために宝を蓄えるのではなく、神に対して富まなければなりません/「**口の妻を思い出さない**」(ルカ17:32)が意味するのは、神が裁き、完全に破壊しようとしている邪悪な世を私たちが愛すべきではなく、尊ぶべきではないということです。この事は、この世を愛する信者たちに対する厳粛な警告です。**E.**私たちの奴隷仲間を打ちたたくことは、信者仲間を虐待することです/私たちは自分の信者仲間を裁いたり、罪定めしたりしてはならず、彼らに対して親切で情け深くあり、神がキリストにあって私たちを赦してくださったように、彼らを赦さなければなりません/ののしることは、私たちが聖徒たちの内側に苦痛を引き起こすこと、あるいは、口汚い言葉で聖徒たちを激しく責め立て、また批判することによって内側を傷つけることです/主の方法は、私たちの傷に包帯をする(私たちをいやす)ことと、油とぶどう酒を注ぐ(聖霊と神聖な命を私たちに与える)ことです/罪に対する感覚は、神を認識することから来ます。同様に、ののしる言葉に対する感覚は、からだを認識することから来ます。ののしる言葉は、からだの証しに相反します。**F.**酔っ払いどもと食べたり飲んだりすることは、この世的な事柄で酔っ払っているこの世の人と付き合うことです/信者たちの神聖な性質と聖なる立場のゆえに、彼らは未信者と共にくびきを負うべきではありません。この事は、結婚また事業だけではなく、信者と未信者との間のすべての親密な関係に適用されるべきです/私たちは若い時の欲から逃れて、純粋な心で主を呼び求める人たちと共に、すべてを含むキリストを追い求めなければなりません。**G.**王国の実現において、忠信で思慮深い奴隷は、支配する権威を褒賞として与えられます。ところが、邪悪な奴隷は、栄光のキリストから、彼の王国の栄光から、彼の王国にある彼の栄光の臨在から断ち切られます。**II. マタイ25:14～30**が啓示していることは、私たちが主の賜物において忠信に奉仕し、彼のために利益を得な

なければならないということです。それは私たちが来たるべき王国において、主の喜びの中に入るためです。**A.**主はご自身を、外国へ(天へと)行こうとして、自分の奴隷たちに自分の財産を渡す人にとえました。「自分の財産」は、召会とすべての信者を表徴しており、彼らは神の家族を構成します。**B.**主人は、彼の奴隷たちのある者に五タラント、ほかの者に二タラント、ほかの者に一タラントを、それぞれの能力にしたがって与えました/タラントは、霊的な賜物(霊的な技能と能力)を表徴します/キリストのからだのすべての肢体は賜物を持っており、またすべての者が賜物です/「それぞれの能力」は、私たちの天然の能力を表徴しており、それは神の創造と私たちの学びから構成されています/モーセ、ペテロ、パウロの天然の能力は、十字架を経過して、復活の中で出て来て、主によって用いられ、主のからだを建造しました。**C.**タラントで商売をするとは、主が私たちに与えてくださった賜物を用いることを表徴します。ほかのタラントをもうけるとは、私たちが主から受けた賜物が最大限に用いられて、何の損失も浪費もないことを表徴します。**D.**五タラントと二タラントの者とは対照的に、一タラントの者は立ち去って地を掘り、主人の銀貨を隠しました。この事が表徴するのは、主の賜物を用いないで、人々を救わず、主の豊富を彼らに供給しないことです/「地を掘り」とは、この世とかかわりを持ち、私たちが主から受けた賜物を埋めることを表徴します/「主人の銀貨を隠した」とは、主の賜物を無駄にし、地的な口実の下にそれを荒廃させることを表徴します。主の賜物を用いないどのような口実も、賜物を隠すことです。**E.**主人が邪悪で怠惰な奴隷に言っているのは、彼が主人の銀貨を両替人たち(銀行)に預けておくべきであったということです。そうすれば、主人は帰って来た時、利子と共に彼のものを受け取ったでしょう/ある意味で、両替人たち(銀行)はみな、救われたばかりの人、若者、後退した人たちであると言ってもよいでしょう。私たちが自分のタラントを用いる最上の方法は、人を顧みて、人に興味を持ち、人のために関心を持って、キリストを人の中へと分与することです/私たちはだれを顧みるべきかに関して主と時間を費やして、主に開くとき、主は私たちに負担を与えます。私たちは、主と一になって、主の臨在をもって人をはぐくみ、主の豊富をもって人を養うことによって人と接触し、人と交わるとき、自然に自分のタラントを用いるようになります。**F.**主は帰って来た時、私たちと清算をします。この事が表徴するのは、空中における(パルシーアの期間)、主の裁きの座での主の裁きです。そこにおいて、信者たちの生活、振る舞い、働きは裁かれ、褒賞を得るか、あるいは懲らしめを受けます。**G.**主の褒賞は、私たちの働きの大きさと量と関係があるのではなく、私たちが最大限に主の賜物を用いることにおいて忠信であることと関係があります。キリストご自身が、私たちにとっての褒賞としての命の冠、義の冠、栄光の冠であって、私たちは来たるべき王国において彼を享受します。**H.**来たるべき王国において、主の賜物は怠惰な信者たちから取り去られます。そして彼らは外の暗やみに放り出されます。しかし、忠信な信者たちの賜物は増し加わり、彼らは彼らの主人の喜びの中に入ります。主の喜びにあずかることは、王国における栄光と地位にまさった、最大の褒賞です。

## CP1:時に応じて周りの人たちに食物を与える

### 忠信で思慮深い奴隷

**OL1:** マタイ 24:45～51 が啓示していることは、私たちが主の委託において忠信に奉仕し、神を食物として神の家族の者たちに与えなければならないということです。それは私たちが来たるべき王国において、キリストを私たちの褒賞として獲得するためです。

**マタイ 24:45-46** そこで、主人が家族の上に任命して、時に応じて彼らに食物を与える忠信で思慮深い奴隷は、だれであろうか？ 主人が来た時、そのように行なっているのを見られる奴隷は幸いである。

もし私が御言葉において十分に労苦しないで、来てあなたに語るなら、ただ「一杯のコーヒーといくつかのドーナツ」を供給しているだけです。栄養になる、良い朝食を料理するには、あなたの勤勉さを必要とします。このたとえの文脈によれば、忠信な人は勤勉な人です。この忠信であるとは、勤勉であることと...等しいのです。

主の財産は、常にあなたの周りにいます。信者、召会、さらにすべての罪人が、あなたの周りにいます。彼らに食物を供給するのは、あなたの義務、責任です。彼らが罪人であるなら、彼らが必要とする食物として、恵みの福音を供給しなければなりません。彼らが何かに病んでいる信者であるなら、彼らを養い、いやし、強め、目覚めさせる状態にふさわしい言葉を、聖書から供給する必要があります。これを行なうことは、時に応じて、あらゆる種類の人々である主の財産に適切な食物を供給する忠信で思慮深い奴隷になることです。あなたは職場に入る時、これが未信者たちに福音の適切な食物を供給する適切な時の一つであることを、認識しなければなりません。あなたが学校に行く時、...あなたの周りのすべてのクラスメートは、あなたに渡された主の財産です。それは、あなたが機会、すなわち適切な時をとらえて、彼らに福音を供給するためです。

**OL2:** 私たちの心の中で、私たちの主人は来るのが遅れると言うことは、現在の邪悪な時代を愛して、主の出現を愛さないことです。私たちの奴隷仲間を打ちたたくことは、信者仲間を虐待することです。**マタイ 24:48-50** しかし、その邪悪な奴隷が心の中で、「私の主人は来るのが遅れる」と言い、奴隷仲間を打ちたたき始め、...その奴隷の主人は、思いがけない日、知らない時に来て、

あなたは打ちたたくことで、奉仕の時間を浪費しています。奉仕を行なうのではなく、あなたは兄弟たち、奴隷仲間を打ちたたくのです。兄弟たちの多くは、私が人を批判し暴露して打ちたたくの、決して聞いたことがないと証しすることができます。私の唯一の負担は、メッセージを解き放つことです。私にはだれをも暴露する意図はありませんが、多くの人は、私が解き放つメッセージの光によって暴露されます。それは私の仕事ではなく、主の働きです。私たちはみな、一種の打ちたたくことである批判、裁き、反対、つぶやきをやめなければなりません。私たちは、主の権益のために、自分の時間、活力、すべてのものを費やして、積極的な奉仕をしなければなりません。

### 適用:奉仕者編

召会の兄弟姉妹は全員が奉仕者であるべきです。そのために、何人かが先ず立ち上がり、率先して奉仕するべきです。奉仕をする時、第一に重要なことは、時

間をかけて美味しい栄養のある食事を作ることです。栄養があり、しかも美味しい料理です。あなたが美味しい栄養のある霊的食事を提供するために、**①**あなたが料理を提供する新人のことを考え、祈る、**②**神の必要の観点から料理を考え、祈る、**③**新人の観点から、彼らが食べやすい料理にするように考え、祈る、**④**兄弟姉妹と交わり、組み合わせられてからだの奉仕をする、**⑤**食事が美味しくエンジョイのあるものにするために、一緒に会話し(交わり)ながら食べるべきです。このように愛情をこめて、時間をかけて作る料理は、「コーヒーとドーナツ」の食事とは異なり、新人を適切に養うことができます。

神戸に在る召会は、年末年始の時間を用いてZoomでも参加可能な様々なイベントを企画しています。

- ① 12/20(主):PM3:30～4:30 Gospel Song Meeting
- ② 12/27(主):PM3:30～4:30 Year End Blessing Meeting
- ③ 12/28(月):PM6:00～9:00 責任者ブレンディング(BLD)
- ④ 12/29(火):PM7:00～9:00 年末祈り集会
- ⑤ 12/31(木):PM6:30～8:30年末の恵みを数える集会 & 祈りのリレー & 夜景BLD
- ⑥ 1/1(金):AM6:00 日の出BLD & 10:00～12:00 新年集会 & PM BLD
- ⑦ 1/2(土):各地区の福音訪問BLD
- ⑧ 1/3(主):AM VG毎の新年主日集会 & PM1:30～2:30 Zoom新年集会
- ⑨ 1/4(月):PM各地区の福音訪問BLD
- ⑩ 1/5(火):PM各地区の福音訪問BLD
- ⑪ 1/9(土):10:00～12:00 関西責任者奉仕者集会
- ⑫ 1/11(月,祝):AM 福音訪問BLD & PM6:00～9:00 責任者BLD

これ以外に、ヨブ記・箴言・伝道の書結晶の学びの訓練が12/23～1/8にあります(4メッセージ/週)。これらの全ての企画において、より多くの兄弟姉妹が参加して、キリストのからだの交わりと一と聖霊の流れの中で、「全員が成長し、全員が機能する」ことを前進させることができますように。

また奉仕をする時、ねたみや競争心を持って行っただけはいけません。ねたみや競争心を持って奉仕すると、兄弟姉妹の失敗を粗探して、罪定めし、責めます。**IIコリント3:6** 神はまた私たちを新しい契約の奉仕者として、資格づけてくださいました。それは、文字ではなく、霊の奉仕者です。なぜなら、文字は人を殺しますが、その霊は人に命を与えるからです。例えば、あなたは兄弟姉妹の奉仕における些細な失敗を見い出して、怒り、責め立てます。そして今回のことに加えて彼の以前の失敗を持ち出し始めます。これは以前のことで、あなたが自分のねたみの罪を告白していないことを暴露します。あなたはねたみや競争心を入れる卑しい器ではなく、キリストで満たされ、愛の中で他の人にキリストを分与する尊い器であるべきです。罪を告白して、汚れを取り除いて、純粋な心を持って奉仕してください。**祈り:**「主イエスよ、私を、時に応じて、あらゆる種類の人々の必要に応じた食物を供給する、忠信で思慮深い奴隷としてください。周りの人々を養い、いやし、強め、目覚めさせるのにふさわしい言葉を考え、祈り、おいしい食事として提供できるように、御言葉を追求して備えます。奴隷仲間を打ちたたく、すなわち批判したり、裁いたり、つぶやいたりして時間を浪費することなく、主の権益のために、積極的に奉仕します」。

**CP2:** 忍耐強くキリストを表現する生活態度を持ち、勤勉に福音と真理を追い求め、主と召会から受けた負担を担う

**OL1:** 酔っ払いどもと食べたり飲んだりすることは、この世的な事柄で酔っ払っているこの世の人と付き合うことです。マタイ24:48-50 しかし、その邪悪な奴隷が心の中で、「私の主人は来るのが遅れる」と言い、...酔っ払いどもと食べたり飲んだりするなら、その奴隷の主人は、思いがけない日、知らない時に来て、

あなたはそれほど「召会のために負担を負い」、召会生活に関心を持っているので、兄弟姉妹を批判します。いったん召会のことを忘れ、召会に何の関心も持たないと決めたなら、あなたはこの世を愛するようになって、常にこの時代によって麻ひさせられている世の人と付き合いします。この世を愛する聖徒は、長老たちがどんな良いことや悪いことを話しても何の心もありません。かつて彼は奴隷仲間を打ちたたいていたかもしれませんが、今はこの世的な享受によって完全に占有されています。今は、酔っ払いどもと食べたり飲んだりしています。ほとんど毎日が彼にとって幸いな日であり、ほとんど毎週末が楽しい週末であるかもしれません。なぜなら彼は、この世的な事柄の麻ひさせるものを享受しているからです。

**OL2:** マタイ25:14~30が啓示していることは、私たちが主の賜物において忠信に奉仕し、彼のために利益を得なければならないということです。それは私たちが来たるべき王国において、主の喜びの中に入るためです。マタイ25:14-15 天の王国は、ある人が外国へ行こうとして、自分の奴隷たちを呼び、彼らに自分の財産を渡すようなものである。彼はある者に五タラント、ほかの者に二タラント、ほかの者に一タラントを、それぞれの能力にしたがって与えた。そして彼は外国へ出かけた。

私たちは、主が私たちに何かを与えてくださるのを、無関心に待っているべきではありません。違います。私たちは勤勉に福音と真理を追い求めなければなりません。私たちは熱心になって、人の堕落、贖い、再生、救い、血の清め、その霊の洗いを知るべきです。これらすべては完全な福音の面です。...私たちは[また]召会、神の永遠の定められた御旨、神のエコノミーに関する真理を[知り]経験する必要があります。最終的に、これらの真理は私たちのタラントとなるでしょう。その時、私たちはそれを人に供給することができるでしょう。このようにして、主の財産は私たちのタラントとなります。さらに、私たちはこう祈る必要があります、「主よ、私は聖徒たちを顧み、彼らの負担を担いたいです。私の心は彼らのためです」。私たちが聖徒たちに対する心を持ち、彼らに負担を持つなら、主の財産である彼らが、タラントとして私たちに与えられるでしょう。

主があなたに与えられたどの負担も放棄してはなりません。...主は彼の回復において広大な働きを持っておられます。彼はこの働きのために、立ち上がってその責任を負う何千という若い兄弟姉妹を必要としておられます。タラントは、あなたの天然の誕生からのもではありません。そうではなく、それは絶対にあなたの負担と関係があります。あなたが負担を取り上げるなら、タラントを受けます。

**適用:** ビジネスパーソン・大学院生編

ビジネスパーソンや大学院の研究者は、「酔っ払いどもと食べたり飲んだりするとは、この世的な事柄で酔っ払っているこの世の人と付き合うことである」ことを認識してください。あなたがこの世との付き合いに深く関与すると、麻ひさせられてしまいます。ヨハネ 15:18 世があなたがたを憎むなら、あなたがたを憎む前に、私を憎んできたことを知りなさい。16:33 私がこれらの事をあなたがたに語ってきたのは、あなたがたが私の中で、平安を持つためである。世にあって、あなたがたには苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。私はすでに世に打ち勝っている。あなたは世の人のあなたに対する批判を完全に避けることはできません。なぜなら世は主を憎み、召会を憎んでいるからです(全く批判がないというのは、証がないことを証明しているのかもしれませんが)。

しかし、あなたは、反対があっても、忍耐強く、キリストを表現する生活態度を示すことで、悪人呼ばわりしている人に神は訪れてくださいます。Iペテロ 2:12 また異邦人の中では、卓越した生活態度でありなさい。それは、彼らがあなたがたを悪人呼ばわりしていても、あなたがたの良い行ないを自分の目でよく見て、神の訪れの日に、神に栄光を帰すようになるためです。

あなたは、世を愛して証がなくならないように注意すべきです。Iヨハネ 2:15 世と世にあるものを愛してはいけません。だれでも世を愛するなら、御父への愛は彼の中にありません。16 なぜなら、すべて世にあるもの、すなわち肉の情欲と目の情欲と生活の虚栄とは、御父から出たものではなく、世から出たものであるからです。17 世と世の情欲は過ぎ去っていきます。しかし、神のみこころを行なう者は永存するのです。

積極面で、あなたは主と召会から受けた負担を勤勉に祈り、交わり、実行してください。召会の四つの柱は、①真理、②命、③召会、④福音です。真理は命の経験のためであり、召会は命の中で生み出され、建造されます。そして召会は拡張と開展のために、王国の福音を積極的に宣べ伝えるべきです。あなたが召会の四本柱に注意し、負担を持てば持つほど、あなたは命と機能において前進します。

12/20 主日の午後行われた Gospel Song Meeting が祝福され、神戸に在る召会の主日集会人数は、初めて200名を超えました。主だった機能は二人の詩歌を導いた姉妹たちとファシリテーターの若い夫婦が行いました。この若い夫婦はこのような機能を初めて担当しましたが、良く準備し、様々なことに対応して立派に機能を果たしました。改善すべき点はもちろんありますが、全体的に良くできました。次の機会があればもっと良くなるでしょう。多くの若いビジネスパーソンが立ち上がって召会の奉仕の責任を担う必要があります。

祈り:「おお主イエスよ、私は勤勉に福音と真理を追い求めます。そして召会、神の永遠の定められた御旨、神のエコノミーに関する真理を知り、経験します。これらの真理は私のタラントとなります。私は主から負担を与えられた人にこれらの真理を福音として供給します。この世との付き合いに深く関与して麻ひさせられることがないように、若い時から立ち上がって主と召会から受けた負担を担います。アーメン!」

**CP3:** 自分のタラントを用いる最上の方法は、主のために人に関心を持ち、祈り、キリストを分与することである

マタイ25:15-17 彼はある者に五タラント、ほかの者に二タラント、ほかの者に一タラントを、それぞれの能力にしたがって与えた。そして彼は外国へ出かけた。五タラントを受けた者は直ちに行き、それで商売をし、ほかに五タラントをもうけた。同じように、二タラントを受けた者も、ほかに二タラントをもうけた。...26-27 主人は彼に答えて言った、「邪悪で怠惰な奴隷よ。あなたは、私がまかななかった所から刈り取り、散らさなかった所から集めることを知っていた。それなら、私の銀貨を両替人たちに預けておくべきであった。そうすれば、私が帰って来た時、利子と共に私のものを受け取ったであろう」。

**OL1:** タラントで商売をするとは、主が私たちに与えてくださった賜物を用いることを表徴します。ほかのタラントをもうけるとは、私たちが主から受けた賜物が最大限に用いられて、何の損失も浪費もないことを表徴します。

**OL2:** 五タラントと二タラントの者とは対照的に、一タラントの者は立ち去って地を掘り、主人の銀貨を隠しました。この事が表徴するのは、主の賜物を用いないで、人々を救わず、主の豊富を彼らに供給しないことです。「地を掘り」とは、この世とかかわりを持ち、私たちが主から受けた賜物を埋めることを表徴します。「主人の銀貨を隠した」とは、主の賜物を無駄にし、地的な口実の下にそれを荒廃させることを表徴します。主の賜物を用いないどのような口実も、賜物を隠すことです。

**OL3:** 主人が邪悪で怠惰な奴隷に言っているのは、彼が主人の銀貨を両替人たち(銀行)に預けておくべきであったということです。そうすれば、主人は帰って来た時、利子と共に彼のものを受け取ったでしょう。ある意味で、両替人たち(銀行)はみな、救われたばかりの人、若者、後退した人たちであると言ってもよいでしょう。私たちが自分のタラントを用いる最上の方法は、人を顧みて、人に関心を持ち、人のために関心を持って、キリストを人の中へと分与することです。私たちはだれを顧みるべきかに関して主と時間を費やして、主に開くとき、主は私たちに負担を与えます。私たちは、主と一になって、主の臨在をもって人をはぐくみ、主の豊富をもって人を養うことによって人と接触し、人と交わるとき、自然に自分のタラントを用いるようになります。

**OL4:** 主は帰って来た時、私たちと清算をします。この事が表徴するのは、空中における(パルシーアの期間)、主の裁きの座での主の裁きです。そこにおいて、信者たちの生活、振る舞い、働きは裁かれ、褒賞を得るか、あるいは懲らしめを受けます。主の褒賞は、私たちの働きの大きさと量と関係があるのではなく、私たちが最大限に主の賜物を用いることにおいて忠信であることと関係があります。

**OL5:** 来たるべき王国において、主の賜物は怠惰な信者たちから取り去られます。そして彼らは外の暗やみに放り出されます。しかし、忠信な信者たちの賜物は増し加わり、彼らは彼らの主人の喜びの中に入ります。

第一の面は、人が養われ、豊かな栄養が与えられることです。第二の面は、主の財産が増し加わることです。例えば、私たちが福音を宣べ伝えれば宣べ伝えるほど、ますます福音は豊かになります。真理について

も同じです。私たちが真理を人に供給すると、真理は増し加わります。これは聖徒と召会についてもそうです。

**適用: 新人、及び青少年・大学生編**

神が五タラントの者には五タラントを、二タラントの者には二タラントを、一タラントの者には一タラントを要求することは、神がそれぞれの能力に応じて与えたタラントを最大限に活用することが求められているということです。信者であれば、誰でも、タラントが与えられていますので、主はタラントを活用しないどのような言い訳も聞かれません。新人や若者の皆さん、主はあなたに各自が受け取ったタラントにしたがって商売して儲けることを要求しています。

勝利者になり損ねた人たちは、「地を掘り」この世とのかかわりを持ち過ぎました。あなたはこの世に生きていますが、この世の者ではありません。ですから、この世と深く関わり過ぎてはいけません。

ヨハネ15:19 あなたがたが世のものであるなら、世は自分のものを愛したであろう。しかし、あなたがたは世のものではなく、むしろ私があなたがたを世から選り出した。だから、世はあなたがたを憎むのである。

例えば、学生であれば、クラブ活動や遊びのために、放課後や休日の時間を使い過ぎてはいけません。社会人であれば、会社で残業や休日出勤をし過ぎること、仕事の後の付き合いの飲み会や休日のゴルフに積極的に参加することは地を掘ることです。仮に友人や上司に、付き合いが悪い人と批判されても、決して恐れる必要はありません。14:27 私の平安をあなたがたに与える。私があるあなたがたに与えるのは、世の人が与えるようなものではない。あなたがたは心を騒がせてはならない。恐れてはならない。

あなたは少なくとも一タラントを主から受けています。自分のタラントを用いて商売する最上の方法は、主のために人に関心を持ち、祈り、キリストを分与することです。

人に関心を持ち、顧みるとき、名簿と統計を使う必要があります。ルカ15:4 あなたがたのうち、百匹の羊を持っている者がいて、その一匹を失ったなら、九十九匹を荒野に残しておき、失ったその一匹を見つけるまで捜しに行かないだろうか? 統計がなければ、人にあまり関心のない人にとって、100と99は同じです。それだけでなく、100と90も同じでしょう。ピリピ2:21 人はみな自分自身のことを求めて、キリスト・イエスのこと(すべての聖徒たちを伴う召会に関する)を求めていないのです。

あなたは若い時から、あるいは新人の時から、統計を見て増えているのか、減っているのかを知り、名簿を確認して集会に来れなかった人たちに関心を持ち、祈り、接触して、キリストを彼らに分与して養うことを学んでください。

**祈り:**「おお主イエスよ、主は私にタラントを預けてくださいました。自分のタラントを用いる最上の方法は、人に関心を持って、人を顧み、キリストを人の中へと分与することです。主に開き、主と時間を費やして、与えられた負担に従って、主の臨在をもってはぐくみ、主の豊富をもって養います。この世とかかわりを持ちすぎて、タラントを、『地を掘って埋めた』邪悪で怠惰な奴隷のようになることから救ってください。アーメン!」